

がつ にち すい れいわ ねんどとうしよよきんきしゃかいけん
2月10日(水) 令和3年度当初予算記者会見

はっぴょうないよう
発表内容

くば たてが しりょう れいわ ねんどとうしよ
それでは、お配りしております、縦書きの資料、令和3年度当初

よきん あん がいよう らん
予算(案)の概要をご覧ください。

め れいわ ねんどよきんへんせい きほんほうしん
まず、1ページ目の令和3年度予算編成の基本方針であります。
す。

ほんし ざいせいじょうきょう じんこうげんしょう しんがた かんせんしやう
本市の財政状況は、人口減少や新型コロナウイルス感染症の

えいきやう しぜい げんしゅう みこ なか しゃかいほしやうかんけいひ
影響などにより、市税の減収が見込まれる中、社会保障関係費

ぞうかけいこう こうさいひ いぜん たか
は増加傾向にあるとともに、公債費についても依然として高い

すいじゆん すい い らっかんし じょうきょう にんしき
水準で推移するなど、楽観視できる状況ではないと認識して
おります。

しんちやうしゃせいびじぎやう みち えき せいびじぎやう
また、新庁舎整備事業や道の駅「くるくる なると」整備事業など

だい き ぼ じ ぎ ょう と く こんご ざいせいじゆよう
の大規模事業にも取り組んでいくことから、今後の財政需要を

てきかく み こ しょうらい み す ざいせいうんえい とく りゆうい ひつよう
的確に見込み、将来を見据えた財政運営に特に留意する必要が
あります。

じょうきょう なか ほんし さまざま ぎやうざいせいかいかく ちゃくじつ すす
こうした状況の中、本市では、様々な行財政改革を着実に進

ほんし しょうらいとしぞう じつげん む だいろくじなるとし
めるとともに、本市の将来都市像の実現に向け、「第六次鳴門市

そうごうけいかく こうききほんけいかく みらい そうごうせんりやく
総合計画 後期基本計画」や「なると未来づくり総合戦略2020」

かか じゆうてんじぎやう せっきよくてき てんかい しょうらい
に掲げる重点事業について、積極的に展開することにより、将来

じぞくかのう けんぜんざいせい こうちく すいしん つと
にわたり持続可能な健全財政の構築とまちづくりの推進に努めて
おります。

れいわ ねんどとうしょよさん みち えき
こうしたことから、令和3年度当初予算では、道の駅「くるくる な

せいびじぎょう しせい はってん し じぎょう ひ つづ
ると」整備事業などの市政発展に資する事業について、引き続き

せつきよくてき よさん はいぶん おこな みらい そうごうせんりやく
積極的な予算配分を行うとともに、「なると未来づくり総合戦略

かか じゅうてんじぎょう ちやくじつ じっし ほんし
2020」に掲げる重点事業を着実に実施することにより、本市の

しょうらい み す ちやくじつ すいしん よさん
将来をしっかりと見据えたまちづくりを着実に推進できる予算と

よさん へんせい おこな
なるよう、予算編成を行いました。

つづ よさん き ぼ せつめい
続きまして、予算規模についてご説明いたします。

れいわ ねんど いっぽんかいけいとうしょよさん おく まんえん
令和3年度の一般会計当初予算は290億3,000万円となり、

ぜんねんどとうしょよさん ひかく おく まんえん りつ
前年度当初予算と比較して、43億6,600万円、率にして17.7

ぞう か こさいだい よさん き ぼ
%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

がいよう とくべつかいけい しりょう
なお、概要や特別会計につきましては、資料の2ページから8ペ

きさい いちどく さいわ
ージに記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

こんかい どうしょよさん しゅよう
また、9ページから26ページが今回の当初予算にかかる主要

しさく いちらん
施策の一覧となっております。

つづ れいわ ねんどとうしょよさん あん およ れいわ ねんど がつほせい
続きまして、令和3年度当初予算(案)及び令和2年度3月補正

よさん あん じゅうてんじぎょう よこが しりょう せつめい
予算(案)の重点事業については、横書きカラーの資料でご説明

いたします。

らん
1ページをご覧ください。

しんがた かんせんしょうたいさくきんきゅうしえんさく だい
はじめに、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援策「第8

だん なるとしかんこうじぎょうじぞく かきゅうふきんじぎょう
弾」、「鳴門市観光事業持続化給付金事業」についてであります。

しんがた かんせんしょう かくだい おお だけき う
新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きな打撃を受けて

かんこうかんけいじぎょうしゃ じぎょうけいぞく しえん なるとしかんこう
いる観光関係事業者の事業継続を支援するため、鳴門市観光

じぎょうじぞく かきゅうふきんせいど そうせつ
事業持続化給付金制度を創設いたします。

きゅうふたいしょうじぎょうしゃ きゅうふようけん み しゅくはく
給付対象事業者につきましては、給付要件を満たす、「宿泊

しせつ かんこうしせつ みやげものこうりてん じどうしゃうんてん
施設」、「観光施設」、「土産物小売店」、「タクシー・自動車運転

だいこうぎょう いとな じぎょうしゃ
代行業」を営む事業者でございます。

きゅうふがく しゅくはくじぎょうしゃ へ や すう おう まんえん
給付額につきましては、宿泊事業者は部屋数に応じて10万円

まんえん かんこうしせつ いちりつ まんえん みやげものこうりてん いちりつ
から70万円、観光施設は一律40万円、土産物小売店は一律10

まんえん じぎょうしゃとう だい つ まんえん きゅうふ
万円、タクシー事業者等は、タクシー1台につき2万円を給付いた

じぎょうひ まんえん しんせい うけつけ れいわ ねん がつ
します。事業費は2,100万円で申請の受付は、令和3年3月26

にち
日までです。

らん
2ページをご覧ください。

きんきゅうしえんさく だい だん
緊急支援策「第9弾」としまして、はじめに、「WITH(ウィズ)コ

じぜんひなんそくしんじぎょう
ロナ事前避難促進事業」であります。

おおあめ たいふうせつきん けいかい いじょう ひなんじょうほう はっぴょう
大雨や台風接近により警戒レベル3以上の避難情報が発表さ

どしゃさいがい こうずい たかしお ひがい よそう ちいき す
れたとき、土砂災害や洪水、高潮の被害が予想される地域にお住

こうれいしゃとう はいりよ よう かた つ そ かた じぜんひなん
まいの高齢者等、配慮を要する方や付き添いの方が、事前避難と

りょかんとく りよう ぼあい ひとり ぼく せんえん
して「ホテル、旅館等」を利用した場合、1人あたり1泊5千円を

じょうげん しゅくはくひ ほじょ おこな
上限に、宿泊費の補助を行うものです。

つぎ しんがた せつしゅじぎょう せいめい
次に、「新型コロナウイルスワクチン接種事業」について、生命

けんこう そこ けいげん いりよう ふ か けいげん
や健康を損なうリスクの軽減や医療への負荷の軽減、さらには、

けいざい あんてい きたい しみん えんかつ
経済の安定につながることを期待されることから、市民の円滑な

せつしゅ じっし ひつよう たいせい かくほ はか
接種を実施するために必要な体制の確保を図ります。

つぎ らん
次に、3ページをご覧ください。

げんざい しんがた かんせんしょう えいきょう けんないがい さまざま
現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外の様々

うりあげ げんしょう ぶそく じょうきょう
なイベントでの売上が減少、またPR不足となっている状況であ

ります。

おおたにやき こんご じぎょうけいぞく はんばい
大谷焼が今後も事業継続していくために、インターネット販売

そくしん さくせい おこな はんろかくだい にんちどころじょう ほか
促進やリーフレット作成などを行い、販路拡大や認知度向上を図

まい かんが
って参りたいと考えております。

つぎ らん
次に4ページをご覧ください。

ほいくしょうかんせんしょうよぼうたいさくほじょきんじぎょう なら こうりつほいくしょ
「保育所等感染症予防対策補助金事業」並びに「公立保育所

かんせんしょうよぼうたいさくじぎょう
感染症予防対策事業」についてであります。

しりつ ほいくしょ にんてい えんとう ほいくしせつとう おこな
私立の保育所、認定こども園等といった保育施設等で行って

しんがた かんせんしょうたいさく よう けいひ じよせい れいわ
いる、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の助成を令和

ねんど けいぞく じっし
3年度においても継続して実施します。

たいしょう けいひ かんせんよぼう ひつよう えいせいようひん
対象となる経費は、感染予防のため必要となる衛生用品や

びひん ちょうたつ ひつよう ひよう しょうどくさぎょう じっし しょくいん
備品を調達するために必要な費用、消毒作業を実施する職員の

じかんがいてあて ま けいひとう
時間外手当などのかかり増し経費等となります。

こうりつ ほいくしょ えいせいようひん びひん ちょうたつ
また、公立保育所につきましても、衛生用品や備品を調達し、

いっそう かんせんしょうたいさく つと
一層の感染症対策に努めることとしております。

つぎ らん
次に、5ページをご覧ください。

かんせんしょうたいさくとう がっこうきょういくかつどうけいぞくしえんじぎょう
「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」につきまして

かくがっこう かんせんしょうたいさく てってい じどうせいと がくしゅうほしょう
は、各学校が感染症対策を徹底しながら、児童生徒の学習保障

と く けいぞくじっし がっこうちょう はんだん
のための取り組みを継続実施するにあたり、学校長の判断で

じんそく じゅうなん たいおう がっこうきょういくかつどう
迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の

えんかつ うんえい しえん
円滑な運営を支援いたします。

いっこう がく がっこう きぼ おう まんえん まんえん
一校あたりの額は、学校の規模に応じて80万円から160万円

しな いこうりつしょうがっこう こう ちゅうがっこう ぶんこう ふく こう たいしょう
で、市内公立小学校13校、中学校は分校を含む6校を対象とし
ています。

つぎ ようちえん かんせんしょうたいさくしえんじぎょう くに
次に、「幼稚園の感染症対策支援事業」でございしますが、国の

こうふきん かつよう しな いこうりつようちえん えん しんがた
交付金を活用し、市内公立幼稚園12園において、新型コロナウイルス

かんせんしょうたいさく じっし ひつよう ほけんえいせいようひん
ルス感染症対策を実施するために必要となる保健衛生用品を

こうにゆう ようちえん さら かんせんしょうよぼう はか
購入し、幼稚園での更なる感染症予防を図ります。

つづ かつりよく みりよく
続きまして、「うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり」につい
てであります。

らん
6ページをご覧ください。

なると うずしお ちゅうしん こういきかんこう じぎょう
「『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業」に
つきましては、みなみ し れんけい なると うずしお かく
南あわじ市と連携し、「鳴門の渦潮」を核とした

かんこう おこな ちょうきたいざいがた かんこうち
観光エリアのブランディングを行い、長期滞在型の観光地を

めざ
目指します。

ちいき かんこうじぎょうしゃ しょうひん かいはつ おこな ちいき
地域の観光事業者とともに商品・コンテンツ開発を行い、地域

かせ しく つく じぞくかのう ちいき めぎ
で稼ぐ仕組みを作ること、持続可能な地域づくりを目指します。

じだい おおなるときょうじてんしゃどうかいつう
アフターコロナ時代、さらには「大鳴門橋自転車道開通」や「2

おおさか かんさいばんぱく とう みす こくないゆうきやく たいざいがたかんこう
025大阪・関西万博」等を見据えた、「国内誘客」「滞在型観光」

じゅうてんてき しさくてんかい あたら かんこう
などを重点的に施策展開し、さらに新しい観光スタイルとし「ワー

みりよくはっしんりよく きょうか たいおう とく とお
ケーション」「魅力発信力の強化」などに対応した取り組みを通し

わかもの ていじゅうそくしん いじゅうしゃ ぞうか こうりゅうじんこう ぞうかとう はか
て、若者の定住促進、移住者の増加、交流人口の増加等を図り

ます。

らん
7ページをご覧ください。

しこく すいしんじぎょう しないがい
「四国のゲートウェイ推進事業」につきましては、市内外から

しゅうきやく みんかんだんたい きょうさい かたち じっし
集客できるイベントを民間団体との共催という形で実施するほ

ちいき そうしゅつ きぼう だんたい
か、地域のにぎわい創出のため、希望する団体にイルミネーショ

せつび か だ いちぶせっちひ ほじょ おこな
ンの設備を貸し出し、一部設置費の補助を行います。

にし みち えき だいく さと きゅうけい
また西のゲートである道の駅「第九の里」において、休憩スペ

かんぱんとう せいび おとず かた かいてき じかん す
ースや看板等を整備し、訪れる方が快適な時間を過ごせるよう

う い たいせい せいび おこな
受け入れ体制の整備を行います。

つぎ すいしんじぎょう
次に、「サイクリングツーリズム推進事業」につきましては、サイ

う い たいせい ととの げんぎいさくせいちゅう なるとし
クリストの受け入れ体制を整えるため、現在作成中の鳴門市

じてんしゃかつようすいしんけいかく もと う い かんきょうせいび すす
自転車活用推進計画に基づき、受け入れ環境整備を進めます。

なると みなみ かん じてんしゃゆそう とう ひ つづ
また鳴門・南 あわじ間の自転車輸送やイベント等を引き続き

じっし おおなるときょうじてんしゃどうかいつう む きうん も あ
実施し、大鳴門橋自転車道開通に向けて機運を盛り上げるとと

ちいき かつせいか しみん けんこう そくしん
もに、地域の活性化と市民の健康づくりを促進します。

らん
8ページをご覧ください。

みち えき せいびじぎょう ほんじぎょう
「道の駅「くるくる なると」整備事業」につきましては、本事業は、

こうりゅうじんこうかくだい ちいき かつせいか はか もくてき しこく
交流人口拡大と地域活性化を図ることを目的とする「四国のゲー

すいしんじぎょう きかんしせつ なるとしおおつちょう こくどう ごう
トウェイ推進事業」の基幹施設として、鳴門市大津町の国道11号

ぞ こくどうつうしょう いったいがた みち えきせいび めぎ
沿いに、国土交通省との一体型の道の駅整備を目指すもので

す。

じぎょう しんちやくじょうきょう げんざい じぎょうけいかくち
事業の進捗状況といたしましては、現在、事業計画地において

ぞうせい こうじ ちゃくしゆ しせつ かんりうんえい おこな みるかん
造成工事に着手しており、また、施設の管理運営を行う民間

じぎょうしゃ と い すす じっし
事業者のノウハウやアイデアを取り入れながら進めてきた実施

せつけいぎょうむ がつ かんりょう よてい
設計業務については、この3月に完了する予定です。

こんご れいわ ねんはる かいえき めぎ れいわ ねんどちゅう
今後については、令和4年春の開駅を目指し、令和3年度中に

じっしよてい こくどうつうしょう みち えき どうろく かん しんせい
実施予定である、国土交通省への「道の駅」登録に関する申請

じゅんび おこな けんちくこうじ がいこうこうじとう そうきかんりょう む
準備を行うとともに、建築工事や外構工事等の早期完了に向け

すす
て進めてまいります。

らん
9ページをご覧ください。

ちいきさんぎょうかつせいか なんと すいしんじぎょう
「地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業」につきましては、

れいわ ねんはる かいえきよてい みち えき あら
令和4年春に開駅予定の道の駅「くるくる なんと」では、新たな

ちいきしげん はくくつ じ ぼ さんびん かつよう しんしょうひんかいはつ はんばいはんろ
地域資源の発掘や地場産品を活用した新商品開発・販売販路

かいたく と く
開拓などにも取り組みます。

ちいきしょうしゃきのう あわ も みち えき のうぜいじぎょう
この地域商社機能を併せ持つ道の駅と、ふるさと納税事業を

れんけい しょうひんかいはつりよく はんばい くわ
連携することで、商品開発力や販売ノウハウに加え、ふるさと

のうぜい はんばい じょうほうはっしん つよ い そうじょうこうか
納税の販売・情報発信チャンネルとしての強みを活かした相乗効果

あら ちいきさんぎょうかつせいか かたち なんと すいしん
により、新たな地域産業活性化の形「鳴門モデル」を推進してま

いります。

らん
10ページをご覧ください。

かつどうすいしんじぎょう
「スポーツコミッション活動推進事業」につきましては、スポーツ

すいしん たいかい がっしゆく ゆうち と く
ツーリズムの推進やスポーツ大会・合宿の誘致などに取り組む

ちほうこうきょうだんたい だんたい かんこうさんぎょう みるかんきぎょう いったい
地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体

そしき つう ちいきしんこう ちゅうしんてき やくわり
となった組織として、スポーツを通じた地域振興の中心的な役割

きたい ちょう そしき た あ すいしん
が期待されており、スポーツ庁においても組織の立ち上げが推進

されております。

ほんし へいせい ねんど さんぎょう とら
本市においても、平成30年度よりスポーツを産業として捉え、

つう ちいきかっせいか と く
スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいるところであり、

こんねんどちゅう だんたい かんこうさんぎょう かんみんいったい
今年度中にスポーツ団体や観光産業など、官民一体となったコ

た あ らいねんど ちいき れんけい すいしん
ミッションを立ち上げ、来年度からは、地域が連携して推進してい

うんえいたいせい こうちく
く運営体制を構築してまいります。

11ページを^{らん}ご覧ください。

「サテライトオフィス等^{とうゆうちしえんじぎょう}誘致支援事業」につきましては、^{げんざい}現在、

^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症^{えいきょう}の影響^{としぶ}で、^{きぎょう}都市部^{ちゅうしん}の企業^{しんがた}を中心に

^{かいしゃきのう}会社機能^{ぶんさんか}の分散化^{ちほう}のため、^{じぎょうしょ}地方へ事業所^{せっち}を設置^{うご}する動き^{うご}があり

ます。

このような^{じょうきょう}状況^{とう}をと^{ゆうち}らえ、サテライトオフィス等^{そくしん}の誘致^{そくしん}を^{そくしん}促進^{そくしん}し、

^{じもとこよう}地元雇用^{そうしゅつ}の創出^{ていじゅうじんこう}・定住人口^{ぞうか}の増加^{ぞうか}などにつなげるため、Web サ

イトの^{かいせつ}開設^{じよせいせいど}や助成制度^{そうせつ}の創設^{おこな}を行う^{おこな}など、^{ゆうちしさく}誘致施策^{かくじゅう}の拡充^{はか}を図

ります。

つづ えがお い かん
続きまして、「ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり」であ

ります。

らん
12ページをご覧ください。

ほ いくし じんざい かくほ すいしん じぎょう れいわ ねんど
「保育士人材確保推進事業」につきましては、令和3年度から

あら しりつ ほいくじょ にんてい えん ほいくし かくほ
新たに、私立の保育所や認定こども園における保育士確保を

すいしん じぎょう じっし ぐたいてき しんきしゅうろう
推進するための事業を実施します。具体的には、「新規就労や

ふつきしえん そくしん しゅうろうしえんきんおよ てんにゅうしえんきん しきゅう
復帰支援を促進するための就労支援金及び転入支援金の支給」、

きんぞくねんすう おう てあて しょうれいきん しきゅう ほいくししよく みりよく つた
「勤続年数に応じた手当・奨励金の支給」、「保育士職の魅力を伝

さくせい と く
えるパンフレットの作成」に取り組むこととしています。

らん
13ページをご覧ください。

「ブックスタート事業^{じぎょう}」についてであります。

本市ではこれまで、絵本^{えほん}を通じて親子の絆^{つう}を深め、子どもの^{おやこ}

豊かな人間性^{ゆた}を育むため、4か月を経過したお子様が^{にんげんせい}いる家庭^{はぐく}

に対し、読み聞かせ体験^{たい}や絵本の配布^{よき}を行ってまいりました。^{たいけん えほん はいふ おこな}

この度、新たに令和3年4月以降^{たび}に出生^{あら}された児童^{れいわ ねん がついこう しゅっしょう}を対象に、^{じどう たいしょう}

名前入りオリジナル絵本^{なまえい}をプレゼント^{えほん}します。

こうした取組^{とりくみ}により、より一層、親子で絵本^{いっそう おやこ えほん}に親しむことのでき^{した}

る環境^{かんきょう}づくりを推進^{すいしん}し、『絵本のまち なると』^{えほん}の実現^{じつげん}につなげて

まいります。

つぎ ふにんちりょう ひ じょせいじぎょう たいがいじゆせいとう
次に、「不妊治療費助成事業」につきましては、体外受精等の

いりょうほけん てきょう とくていふにんちりょう よう ひょう いちぶ けん
医療保険が適用されない特定不妊治療に要する費用の一部を県

ふにんちりょうじょせいじぎょう とくしまけん おうえんじぎょう うわの
の不妊治療助成事業である「徳島県こうのとり応援事業」に上乘

じょせい
せして助成するものでございます。

らん
14ページをご覧ください。

ち いきいりょうれんけいきょうかじぎょう こつずいとう
「地域医療連携強化事業」といたしまして、はじめに、「骨髓等

いしよく じょせいじぎょう こつずいとういしよく とうろく
移植ドナー助成事業」につきましては、骨髓等移植ドナー登録の

いっそう かくだいおよ こつずいとう ていきょう かんきょう せいび はか
一層の拡大及びドナーが骨髓等を提供しやすい環境の整備を図

およ きんむ じぎょうしょ ふたん けいげん
り、ドナー及びドナーが勤務する事業所の負担を軽減するため、

きゅうぎょうほしょうとう じょせい おこな
休業補償等の助成を行うものでございます。

しみん けんこう まも ちゅうかくてき いりょうきかん ちほうどくりつぎょうせいほうじん
市民の健康を守る中核的な医療機関である「地方独立行政法人

とくしまけんなるとびょういん しえん おこな
徳島県鳴門病院」に支援を行います。

らん
15ページをご覧ください。

よぼうすいしんじぎょう かれい ともな しんしん
「フレイル予防推進事業」につきましては、加齢に伴う心身の

きのう ていか じょうたい ちょうこう そうき はっけん
機能が低下した状態である「フレイル」の兆候を早期に発見し、

せっきよくてき よぼう つな なるとしばん よぼうすいしんじぎょう
積極的な予防に繋げるため、鳴門市版フレイル予防推進事業を

じっし
実施いたします。

しつもんひょう たいせいぶんぶんせきそうち
質問票によるフレイルチェックとあわせて、体成分分析装置に

えいようじょうたい きんにくじょうたい かがくてき ぶんせき おこな かいぜん ひつよう
よる栄養状態や筋肉状態の科学的な分析を行い、改善が必要

かた たい けいぞくてき じゅうてんてき そうだん しどう つな
な方に対して、継続的・重点的な相談・指導に繋げることで、

ようかいごじょうたい いこう よくせい
要介護状態への移行を抑制しようとするものです。

こうれいしゃ しゃかいさんか うなが じゅうみんしゅたい けんこう
また、高齢者の社会参加を促すとともに、住民主体の健康づ

かいごよぼう いしき じょうせい はか
くり・介護予防の意識のさらなる醸成を図るため、フレイルサポー

ちいき かつやく ようせい と く
ターなど地域で活躍するリーダー養成にも取り組みます。

らん
16ページをご覧ください。

じんけん かいさいじぎょうほんし まいとし
「人権フェスティバル開催事業」につきまして、本市では、毎年

じんけん じんけんぶんかさい かいさい さまざま じんけんもんだい
人権セミナーや人権文化祭などを開催し、様々な人権問題の

かいけつ む と く
解決に向けて取り組んできました。

きんねん じょう ひ ぼう ちゅうしょう あら じんけんもんだい はっせい
近年では SNS 上での誹謗中 傷など新たな人権問題も発生し

いじょう しゅうち けいはつ きょうか ひつよう
ており、これまで以上に周知・啓発の強化が必要であることから、

かくしゅじんけんけいはつかつどう そうごうてき じっし じんけん
各種人権啓発活動を総合的に実施する「人権フェスティバル」を

かいさい
開催します。

しみんひとり じんけんもんだい ただ りかい にんしき ふか
市民一人ひとりが、人権問題について正しい理解と認識を深

たが じんけん たいせつ まも とも く しゃかい じつげん
め、互いの人権を大切に守りながら、共に暮らせる社会の実現を

ひろ じんけんそんちようし そう ふきゅう こうよう はか もくてき
めざし、広く人権尊重思想の普及・高揚を図ることを目的としま
す。

たいけん しみん した たの
体験・ふれあいコーナーなど、市民が親しみやすく楽しむことが

ようそ と い しみん かた さんか うなが
できる要素を取り入れることにより、市民の方の参加を促し、

じんけんそんちよう なんと
人権尊重のまち鳴門をめざします。

つぎ せんせいせいどうにゆうじぎょう
次に、「パートナーシップ宣誓制度導入事業」につきましては、

せんせいせいど いっぽうまた そうほう せいてき
「パートナーシップ宣誓制度」とは、一方又は双方が性的マイノリ

にちじょう せいかつ そうご きょうりよく あ
ティであるカップルが、日常の生活において相互に協力し合うこ

やくそく かんけい じちたい たい せんせい せいど
とを約束した関係であることを自治体に対して宣誓できる制度で、

せんせい う じちたい しょうめいしょとう こうふ
宣誓を受けた自治体は証明書等を交付します。

せいど せんせい ほうりつじょう こうか しょう
この制度は、宣誓をしたカップルに法律上の効果を生じさせる

かんけい ぎょうせい にんち
ものではありませんが、その関係を行政が認知することによって、

とうじしゃ かか ふあん こんなん けいげん ひと しゅだん
当事者が抱えるさまざまな不安や困難を軽減する一つ的手段に

なることをめざしています。

ほんし れいわ ねんどちゅう どうにゆう よてい せいどうにゆう む
本市では、令和3年度中の導入を予定しており、制度導入に向

たよう せい かた かん りかい ふか ししよくいん たいしょう
け、多様な性のあり方に関して理解を深めるため、市職員を対象

けんしゅう じっし せいど ひろ しみん しゅうち おこな
に研修を実施するほか、制度について広く市民に周知を行いま
す。

らん
17ページをご覧ください。

すいしんじぎょう れいわ ねん
「コミュニティ・スクール推進事業」につきまして、令和2年から

しんがくしゅうしどうようりょう がっこうきょういく つう
の新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい

しゃかい つく りねん しゃかい ひら きょういくかてい
社会を創る」という理念のもと、「社会に開かれた教育課程」の

じつげん じゅうし
実現が重視されています。

ちいき がっこう れんけい きょうどう じゅうよう
そのためには、地域と学校が連携・協働していくことが重要で

ぐたいてき と く がっこううんえい
あり、その具体的な取り組みが、コミュニティ・スクール(学校運営

きょうぎかいせいど
協議会制度)です。

がっこううんえい ちいき こえ せっきよくてき
コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に

い ちいき いったい とくしよく がっこう すす
生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくこと

ができます。

ほんし れいわ ねんど ちゅうがっこう こう しょうがっこう こう けい こう
本市では、令和3年度に中学校2校・小学校5校の計7校をモ

こう どうにゆう れいわ ねんど
デル校としてコミュニティ・スクールを導入し、令和4年度には

しないぜんこう どうせいど かつよう とくしよく がっこう すす
市内全校において同制度を活用した特色ある学校づくりを進め

ます。

らん
18ページをご覧ください。

こうそうすいしんじぎょう もんぶかがくしょう
「GIGAスクール構想推進事業」につきまして、文部科学省が

かか こうそう くに れいわ ねんどほせいよさん
掲げている「GIGAスクール構想」が、国の令和2年度補正予算

かそくか
において加速化されることとなりました。

ほんし こうない かんきょうせいび ゆうせんかだい
本市としても校内における ICT環境整備を優先課題とし、タブ

たんまつ かつよう じゅぎょう こうかてき おこな とくべつしえん
レット端末を活用した授業を効果的に行えるよう、特別支援

がっきゅうおよ とくべつきょうしつ おおがたていじそうち せいび
学級及び特別教室へ大型提示装置を整備します。

とくしまけん すいしゅう じゅぎょうしえん どうにゆう
また、徳島県が推奨する授業支援ソフトを導入し、スムーズな

じゅぎょうてんかい はか
授業展開を図ります。

つぎ しえんいんいたくじぎょう きょういん
次に、「ICT支援員委託事業」につきましては、教員へのサポー

たんまつ かつよう じゅぎょう おこな
トとして、タブレット端末を活用した授業がスムーズに行えるよう、

き き たんまつ そうさしえん こしょうじ たいおう
機器のメンテナンスやタブレット端末の操作支援、故障時の対応

とう おこな しえんいん こう めいはいち
等を行う ICT支援員を3校につき1名配置します。

つづ あんしん かいてき す よ
続きまして、「しっかり 安心・快適 住み良いまちづくり」でござ
います。

らん
19ページをご覧ください。

しんちょうしゃせいびじぎょう ひ つづ しんちょうしゃせいび
「新庁舎整備事業」につきましては、引き続き、新庁舎整備の

きほんりねん しみん あんぜんあんしん きずな なんと
基本理念である「市民の安全安心をまもり、絆をはぐくむ鳴門ら

ちょうしゃ じつげん む れいわ ねんあき しゅんこう めぎ せいび すす
しい庁舎」の実現に向け、令和5年秋の竣工を目指した整備を進
めます。

れいわ ねんど おも と く ほんねん がつ じっし
令和3年度の主な取り組みとしましては、本年1月に実施したプ

しんぎ けっか じぎょうしゃ けってい じぎょう
ロポーザル審査の結果、事業者を決定したデザインビルド事業の

なか しんちょうしゃ じっしせっけい すす ねんどない さくてい けんせつ
中で、まずは新庁舎の実施設計を進め、年度内の策定、建設

こうじ ちやくしゆ めぎ と く
工事への着手を目指して取り組んでまいります。

しみんかいかん しやくしよ めん ていえん ひがしがわしゃこ
また、市民会館や市役所ロータリーに面する庭園、東側車庫

どう かいたいてつきよ じっし こじん しょゆう りんせつ と ち
等の解体撤去を実施するとともに、個人が所有する隣接土地の

しゆとく お すす
取得を推し進めることとしております。

がつ ていけつ きょうとだいがく れんけいきょうてい もと ほん
このほか、1月に締結した京都大学との連携協定に基づき、本

し しょゆう こますだともやしせっけいけんちく ずめんとう どうだいがく きぞう
市が所有する故増田友也氏設計建築の図面等を同大学に寄贈

せっけいとしよ か と く
するため、設計図書のデジタル化に取り組んでまいります。

あら さくせい げんざいはいふちゅう どしゃ
ードマップを新たに作成いたします。また、現在配布中の「土砂

さいがい こうずい ないよう みなお
災害・洪水ハザードマップ」の内容を見直します。

ぼうさいぎょうせいむせんこべつじゅしんきせっちじぎょう
「デジタル防災行政無線戸別受信機設置事業」につきましては、

しかくしょう かた せたい ぼうさいぎょうせいむせん そうじゅしん れんどう
視覚障がいのある方の世帯に、防災行政無線の送受信に連動し

きどう こべつじゅしんき むしょうたいよ ひじょうじ じょうほうしゅうしゅう
て起動する戸別受信機を無償貸与し、非常時の情報収集ツ

かつよう
ルとして活用していただきます。

らん
21ページをご覧ください。

かんきょう すいしんけいかく さくていじぎょう
「「なると環境プラン推進計画2022」策定事業」につきまして、

ほんし へいせい ねんど ねんさき しや い
本市では、平成16年度に、50年先までを視野に入れ、「なると

かんきょう なるとしかんきょうきほんけいかく さくてい
環境プラン2004—鳴門市環境基本計画—」を策定しています。

へいせい ねんど けいかく かか こべつもくひょう たっせい む
平成24年度には、計画に掲げている個別目標の達成に向け、

と く しきく じゅうてんじっしじぎょう ねん みなお すいしん
「取り組み施策」と「重点実施事業」を5年ごとに見直し・推進する

かんきょう すいしんけいかく さくてい
ため、「なると環境プラン推進計画」を策定しております。

たび へいせい ねん がつ さくてい かんきょう すいしんけいかく
この度、平成29年3月に策定した「なると環境プラン推進計画

けいかくきかん れいわ ねんど まんりょう ほんし
2017」の計画期間が令和3年度で満了することから、本市の

かんきょう しゃかいてき じょうきょう へんかとう ふ かんきょう
環境や社会的な状況の変化等を踏まえ、「なると環境プラン

すいしんけいかく さくてい と く
推進計画2022」の策定に取り組みます。

らん
22ページをご覧ください。

てんかい はか れいわ ねんどまつ め ど りっち てきせい か
展開を図るため、令和4年度末までを目途として「立地適正化

けいかく あら さくてい
計画」を新たに策定します。

らん
23ページをご覧ください。

な る と し きたじまちょうきょうどうじょうすいじょうせい びじぎょう きゅうよしの
「鳴門市・北島町共同浄水場整備事業」につきまして、旧吉野

がわ はさ たいがん い ち ほんし きたじまちょう じょうすいじょう ろうきゅうか
川を挟んだ対岸に位置する本市と北島町の浄水場は、老朽化が

すす たいしんせい のう かだい すいどうこういきか けんとう きょうぎ
進み、耐震性能などに課題があるため、水道広域化の検討・協議

すす きょうどうじょうすいじょう こうしん
を進め、共同浄水場として更新することとしました。

けんせつこうじ じぎょうひやく おくえん せつけい せ こういっかつはっちゅうほうしき
建設工事は、事業費約115億円で、設計・施工一括発注方式と

じっし こんねんどじゅう じぎょうしゃ けいやく ていけつ よてい
して実施することとし、今年度中に事業者と契約を締結する予定

れいわ ねんど きょうどうじょうすいじょう せいび ちやくしゆ れいわ ねん がつ
で、令和3年度から共同浄水場の整備に着手し、令和8年4月の

きょうようかいし め ぎ
供用開始を目指します。

れいわ ねんどとうしよよさん きょうどうじょうすいじょう せつけい せこうぎょうむ
令和3年度当初予算では、共同浄水場の設計・施工業務の

じぎょうひ おくえん どうじぎょう じっし せこうかんりぎょうむ
事業費として19億円、同事業の実施における施工監理業務に3,

まんえん けいじょう
600万円を計上しています。

さいご やくどう つく
最後に、「おおきく躍動 みんなで創る まちづくり」でございま
す。

らん
24ページをご覧ください。

じちたいむ もう こ およ
「自治体向け申し込み・アンケートフォーム及びビジネスチャット

どうにゆうじぎょう じちたいむ もうしこ
導入事業」について、自治体向け申し込み・アンケートフォームを

どうにゆう かくしゅもうしこ しみん む とう
導入することにより、各種申込みや市民向けアンケート等につい

とう もち りよう
て、パソコンやスマートフォン等を用いて、オンラインで利用いた

かんきょうこうちく すす しみん みなさま りべんせい こうじょう はか
だけの環境構築を進め、市民の皆様の利便性の向上を図りま

す。

ぎょうせいないぶ じ む てつづ とう か すす
また、行政内部の事務手続き等についてもデジタル化を進め

へいじょう じ しょくいんかん きょうか
ることにより、平常時における職員間のコミュニケーションの強化

およ じ む かいぜん こうりつか はか さいがい じ
及び事務改善や効率化を図るとともに、災害時やテレワーク時に

しょくいんかん れんらくしゅだん かくほ はか
おける職員間の連絡手段の確保も図ります。

らん
25ページをご覧ください。

なるとし じ ち きほんじょうれいしこう しゅうねんきねんじぎょう へいせい
「鳴門市自治基本条例施行10周年記念事業」について、平成

ねん がつ にち しこう しみん しゅやく
23年11月1日に施行され、「市民が主役のまちづくり」をうたった

なるとし じ ち きほんじょうれい しゅうねん むか きねん
鳴門市自治基本条例が、10周年を迎えることを記念し、これか

ねん かんが きねんこうえんかい かいさい かんが
らの10年を 考 える記念講演会を開催したいと 考 えております。

きねんこうえんかい
記念講演会のほかにも、

こうほう とくしゅう き じ けいさい
・「広報なると」の特集記事掲載

ねん ふ かえ てん
・これまでの10年を振り返るパネル展

けんとう いじょう しみんさんか しみんきょうどう すいしん
なども検討しており、これまで以上に市民参加や市民協働を推進

ねん かんが
する1年にしたいと 考 えています。

いじょう きしゃかいけん わたし せつめい しゅうりょう
以上で、記者会見にあたりまして 私からの説明を終了いた

します。